

転倒・転落事故防止の主役は患者さんです

入院による環境変化や体力低下などにより、思わぬ転倒転落事故が起こります。

昭和病院でも、**毎年200件程度**、2日に1人、病院のどこかで患者さんが転んでいます。

転倒による骨折などで、入院が長引くことがあります。



《転倒・転落予防を一緒に取り組みましょう!》

「自分に限って大丈夫」と思わずに、ナースコールを押し、遠慮なく看護師を呼んでください

転倒・転落を防ぐための注意点

- ▶ ベッドから降りる時はふらつきなどに注意しましょう
(特に夜間は、ゆっくりと慎重に動き始めましょう)
- ▶ 履物は、履きなれたもの、特に底がすべらないものにしましょう。
- ▶ 寝巻きやパジャマの裾は、体に合った長さにしましょう
- ▶ ベッドで安静にすることにより、1日3%の筋力低下が起こると言われています。
必要な方には、トイレの介助や同行などを看護師が行います。

